

ミルボン トレーサビリティシステムを開発 自社商品の製造・流通情報の追跡が可能に

美容室向けヘア化粧品メーカーのミルボンは、自社ヘアケア商品の「個体識別番号」「流通情報」「商品情報」を誰でも確認できるシステム「ミルボントレーサビリティシステム」を開発した。

6月10日に発売するグローバルヘアケアブランド「milbon」の新しいラインである「PREMIUM Position」(プレミアムポジション)より運用を開始する。このシステムにより、顧客は手にした商品の信頼性を自身で確認することができるようになり、

より安心して商品を使用することが可能になる。「ミルボントレーサビリティシステム」では、商品化粧箱に記載された2次元バーコードをスマートフォンのカメラアプリ等で読み取ることで、誰でも商品の「個体識別番号」「流通情報」「商品情報」の3つの情報にアクセスできる。

「個体識別番号」は商品一つ一つに付加される23桁の固有番号で、正規品である証というだけでなく、万が一製品不具合があった場合の迅速な対応が可能になる。「流通

情報」では、商品流通経路の名称と所在が表示されるため、流通時の取り扱いや保管状況などに対する顧客の不安を取り除くことができる。

昨今の高級化粧品市場における模倣品や不透明な流通経路に対する問題意識の高まりの中、自社商品に責任を持ち、消費者に安全・安心を保証することは、メーカーとしての責務であるとの考えから同システムは開発された。



自社の商品でも複数のブランドで模倣品が確認されている中、今回、自社の商品の製造・流通情報の追跡を可能にするシステムを開発した。

H&BC売場に回収ボックスを設置 イオンリテール

イオンリテール(井出武美社長)は4日、H&BCの専門ショップ「グランビューティーク」や化粧品売場にリサイクルの回収ボックスを設置した。

「グラムビューティーク」は、購入店舗にかかわらず、スキンケア、メイクアップ、ヘアカラー、

7.0%で、2016年の世界の模倣品・海賊版(インターネット上の海賊版を除く)の流通額は、OECD調査)は、模倣品は現在までに355.4兆円、世界貿易額の3.3%に達する可能性がある」と推計されている。

ミルボンの商品も複数の国において模倣品が確認されており、デッドコピー品(商品形態の模倣品)は現在までに3ブランド、パッケージを模倣した商品は現在までに5ブランドで、事例が確認されている。



回収した容器は、リサイクルされ、買物カゴやエコバックとして再生される。

ケミカルリサイクルの推進に 向けた協業を検討

BASF 三井化学

BASFジャパンと三井化学は、日本でのケミカルリサイクルの推進に向けた協業検討を開始した。両社は、バリューチェーンの横断的な連携を通じて、日本国内におけるプラスチック廃棄物のリサイクル課題に応えるケミカルリサイクルを日本で事業化することを目指し、共同ビジネスモデルを含めあらゆる可能性を検討していく。

BASFは、サステナビリティを経営の根幹に据えており、「Chemical Recyclingプロジェクト」では、プラスチック廃棄物を、化学品製造の原料として使用可能な熱分解油に変換する革新的なプロセスをもつ技術パートナーと協働している。

ケミカルリサイクルにより生まれた化学品は、

料に置き換えることを目指している。

一方、三井化学は、2050年カーボンニュートラル目標を掲げ、気候変動とプラスチック問題を一体の課題として捉え、リサイクル技術・システムの開発とバイオマス製品ラインナップの拡充により循環経済の実現を目指している。

近年、カーボンニュートラルやプラスチック資源循環に向けた取り組みが世界的に加速する中、日本においては、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」が策定されるなど、リサイクルの重要性が一層高まっている。

中でも、ケミカルリサイクルの重要性が一層高

宮崎県にリフィルステーションを開設

ユニリーバ・ジャパンは、6月1日より、宮崎県新富町の「新富町チャレンジショップ」内にリフィルステーションを開設し、「ダウ」のシャンプー・コンディショナーやボディウォッシュの量り売りを開始した。

プラスチックごみの削減に



は、プラスチックの使用量を減らすこと(リデュース)、資源として再生すること(リサイクル)に加えて、繰り返し使うこと(リフィル&リユース)が重要だ。ユニリーバは、インドネシア、英国、チリなどで、シャンプーや洗剤を量り売りする新しいビジネスモデル「リフィルステーション」を試験導入してきた。

ユニリーバ・ジャパンでも、2021年2月から、長野県佐久市にて日本初となる移動販売車を利用したリフィルステーションの実証実験を開始。地域の移動販売サービスマン(みなみご近所さん)と連携し、これまでに4回にわたってシャンプーやボディウォッシュの実証実験で得られた効果の検証を行った上で、全国展開に向けての具体的な計画の策定・実施に

長野県佐久市に続く2店舗目となるリフィルステーションは、ユニリーバ・ジャパンと地域連携包括協定を結ぶ宮崎県新富町にオープン。同町が地域のスタートアップビジネスの育成・支援や雇用の創出、地域経済活性化のために新設する「新富町チャレンジショップ」内に常設コーナーとして設置し、「ダウ」のシャンプー・コンディショナーやボディウォッシュを好きなときに、好きな量だけ、量り売りで購入できるようにする。

今後、リフィルステーションの実証実験を数カ所で行っており、これらの実証実験で得られた効果の検証を行った上で、全国展開に向けての具体的な計画の策定・実施に